

リサイズ

vol.13



イラスト さかいみる

福岡県在住。1999年より、子どもの頃から大好きだった絵を描くことを仕事とする。2011年7月にはスマートフォン用無料アプリ「メチャクんのいつもいっしょ」をリリース！

ホームページ

<http://milart.info>

ブログ

<http://milart.info/blog>

カレンダー

10月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

11月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

12月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

株式会社長崎材木店 リフォーム事業部

NAGASAKI TIMBER CORP.

福岡県古賀市天神5-10-5

0120-30-0354

TEL 092-944-3003 FAX 092-943-6208

<http://www.howsetop.com>

支店

- ◎本社総合展示場
- ◎福岡西展示場
- ◎福岡南展示場
- ◎(株)長崎材木店リアルエステート
- ◎ランドシップカフェ

事業部

- ◎注文住宅事業部
- ◎ログハウス事業部
- ◎リフォーム事業部
- ◎不動産事業部
- ◎ライフサポート事業部

建築士VS女性スタッフによる『水廻りショールーム』探訪

2014年8月に本社総合展示場「住まいの森」内に一流メーカーの商品比較ができる水廻りショールームがオープン致しました。正式オープン前に当社女性スタッフが女性目線で、お客様より少し先に探訪させていただきました。



POINT!

実際の商品を見て、触れて、工事費込の価格も提示してありますので、ご安心下さい。

うあ〜!商品がいっぱい並んでる!



こちらが水廻りショールームです!

リフォームにご興味のない方でもお気軽にお越しください。



水廻りショールーム探訪の始まりです!

機能もかなり充実してるわね。



今までの洗面台では使っていなかったデッドスペースが収納棚になっているのがナイス!



実は私“収納アドバイザー”の資格を持っています。

収納は女性にとって商品購入のポイントです。

そうなんです、自動で開くんです。

へえ〜!自動で開くのね!

掃除がしやすいのも大切よ。



ここのスペースにはたくさんのキッチンが揃ってるね!



掃除もラクそう!



お手入れしやすいのも重要なポイントです。

収納が多いというのも魅力的なようです。

POINT!

各メーカーによる長所の違いを比較して下さい。



正直ホッとしました…。
《一級建築士 八川 一郎》

水廻りショールーム、褒めたくないけど結構良かったわよ!!(笑)



水廻りショールームのポイント

- ◎各メーカーの水廻り商品を一度に見比べることができる。
- ◎工事費込みで価格帯のイメージがしやすい。
- ◎カタログではなく実際に商品を見て、触って体感できる。
- ◎モデルハウスがあるので設置したイメージを想像しやすい。
- ◎新築やリフォームを考えてなくても気軽に遊びに行ける。

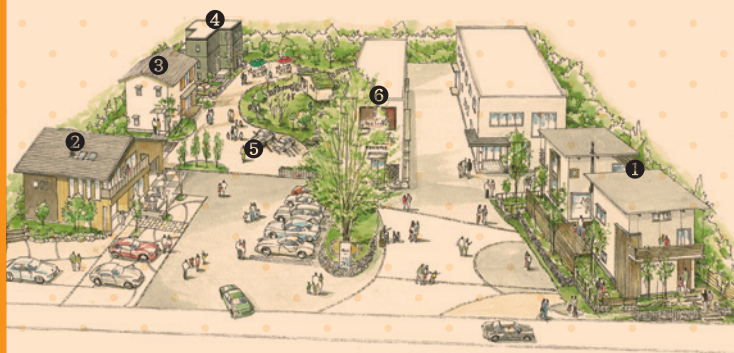
こちらにも比較検討しやすい浴室の展示スペース。

当社水廻りショールームをご体感下さい!!

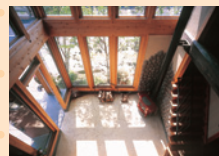


本社総合展示場『住まいの森』にお越し下さい。

福岡県古賀市にある『住まいの森』総合展示場は、
“楽しむ・遊ぶ・極める” 提案が満載のモデルハウスを常設した最新の展示場です。



①第1展示場



②第2展示場



③第3展示場



④第4展示場



⑤BIO FRAME



⑥水廻り展示場

水廻りショールームがオープンしました！

実際に見て、触れて、使うことのできる水廻りショールームが8月23日にオープンしました。
じっくりと比較検討できて、工事費込みの価格が明示されているショールームですので、一度ご体感下さい。





(上)キッチンでは冷蔵庫とパントリーを囲む白いタイルコーナーが目を引き
(下)レンジ台代わりのカウンターを床材と同じ木で造作



- キッチンを使いやすくしたい
- 日当たりの良さを生かす間取りに
- 自然素材を取り入れたい
- お気に入りの家具が似合う家に

東区在住
Kさん

キッチンを中心に食べる、寛ぐもう一度ママから始める家族時間

長崎材木店 リフォーム事業部

リノベーション
Renovation
Works 02



Kさんが暮らす住宅の2階部分を全面改装。間取りが広くなり、明るい空間へと大変身をとげた

キッチンのリフォームを機に
「どう暮らしたいか」を考えた

3人の子どもは社会人になり独立。家事や子育てに忙しかったKさんにもようやく毎日を静かに過ごせる時間がやってきた。気がつけば家の中には使わない部屋も増え、長年使い続けてきたキッチンなどの水回り設備もそろそろ役割を終える時期にさしかかっていた。使いにくさに不満があったキッチンを思い切って取り替えようと考えて、以前シャッター工事を依頼したことがある長崎材木店に相談を持ちかけた。当初はキッチンを替えて、壁紙を張り替えるだけのつもりだったKさん。

「キッチンに主人が残してくれた絵画を飾るためのタイル壁をつくることにしてから、イメージがふくらんでいった。何回も打ち合わせをするうちにこの家を、これから先自分が気持ちよく過ごせる場所にしたいという思いが強くなっていました。いずれ子どもたちも結婚して、家族をわが家に連れてくる日が来るでしょう。相手になる方や孫たちをぜひ連れてきてほしいと思うと、リフォームしたいと思う範囲がぐんと広がったんです」。



favorite
space

【ダイニング】

キッチンの真横にダイニングテーブルを配置。料理をしながら家族との会話も楽しめ、配膳や片付けもしやすく一石二鳥

(右)背の高いパントリーに対応するため踏み台も造作。
(左)床材は南洋産の無垢材「メルバウ」。防虫効果が高く、色や木目が美しいのが魅力



(上)「お気に入りの器を飾りながら収納できる」とKさんが一目惚れしたカップボード(下)リフォームを機に家具をトータルコーディネートして新調した



(上)寝室にはトランクのように開閉できる大型収納をオリジナル造作(右)ゲストルームはバラの模様が入ったダークグレーのクロスでシックに

間取りも設備も一新
開放感あるLDKが
お気に入り

鉄骨造で構造は頑丈なものの、夏は暑く冬は寒い家の造りは断熱材から見直すことに。また、部屋を小さく区切っていた昔ながらの間取りは、LDKを中心として家族みんながゆったりと過ごせるレイアウトに変更した。空間の印象を左右する床材にはメルバウをセレクト。南洋産の無垢材で色と木目が美しいうえに防虫効果が高いのも魅力だ。重厚感のある質感が気に入ったKさんは、同じ素材でキッチン周りのカウンターやパソコンテーブルの造作もオーダー。インテリアショップで新たに購

一級建築士が
ご相談に応じます。

お客様のこだわりや住まいに対する想いなどを理想の形にする為、ご納得いただけるまで打ち合わせさせていただきますので、お気軽にご相談下さい。

☎0120-30-0354

入したお気に入りの家具とともに、落ち着いた大人の棲家に相応しいコーディネートが完成した。開放感のあるLDKにKさんも大満足。
「これまでは家族みんなで寛げる場所がなかったから、食事が終わると、みんな自分の部屋に戻って過ごしていました。ですがこれからは、食後はみんな一緒にリビングで過ごすのが定番になりそうです」。



壁は砂漆喰を使用。本来は下塗り材として使われるものだが、色と風合いと質感が無垢材によく似合う



毎年恒例の『年末カレンダー』のお知らせ！



長崎材木店リフォーム事業部では毎年、工事をしていただいたお客様にカレンダーを配布いたしております。同封のアンケートはがきに「カレンダー希望」と書いて郵送下さい。カレンダーをお持ち致します。またお電話やメールでも受付いたしております。本数に限りがございますのでお早めにご連絡下さい。

お問い合わせ先
 《メールアドレス》center@howsetop.com
 《フリーダイヤル》0120-30-0354



編集後記

伝統と生き方、哲学を再認識。

10日間のスコットランドの旅に行ってきました。

今回の目的はスコットランドにおける伝統の研究、町並み、ガーデンの視察、200年近い歴史を持つ蒸留所の視察による老舗哲学の研究…。といえはかっこいいのですが、一番の目的はウイスキーの蒸留所巡りというか酒飲みツアー！“うまい酒は旅をしない！”という言い伝えが昔から気になっていたのです。



行程ですが、二日間はエジンバラで観光。そして、いよいよ3日目からはウイスキーツアー。ハイランド、ネス湖、



スペイサイド地区を廻ります。山と湖と川の美しい風景、そして芳醇なるウイスキー。気候は福岡の11月といったところでしょうか。翌

日からはアイラ島。現地のローカルツアーに入って車とフェリーで移動します。ツアーメンバーも様々で、全世界の酒好きが集まるのツアーです。

キルホーマン以外の醸造所は全て海の横。アイラのウイスキーがソルティーでスモーキーと云われるゆえんです。飲み方は、もちろんストレートに水を加水して香りをたたせていただきます。先述の云われどおり、確かに“うまい酒は旅をしない”納得でした。



それにしても、同じ島の蒸留所でこれだけ違うのかという程、各醸造所のつくるウイスキーには個性がありました。



さて、最後に村上春樹氏の文章を引用させていただくことにします。

どの酒にもそれぞれの生き方があり、哲学があるのだろうという気がします。どのメーカーも「まあ、だいたい



このへんでいいだろう」というような安逸な考え方をしていない。それぞれのディスティラリー（蒸留所）にはそれぞれのレシピが

ある。レシピとは要するに生き方である。何をとり、何を捨てるかという価値基準のようなものである。何かを捨てないものには、何もとれない。

至極名言。私達の家作りも同じ事。私達は可能な限り自然素材、本物の職人にこだわってきました。つまり、これらが私達のレシピ、生き方、哲学なのです。ウイスキーという物作りもそうですが、物作りにおいては金言。「何をとり、何を捨てるか、何かを捨てないものには、何もとれない。」これらの生き方をかたくなに守り続ける、これこそ老舗の哲学。

明治30年創業の我々もあと3年で創業から120年経ちます。伝統と生き方、哲学120年に向けて再認識できた充実したツアーとなりました。

代表取締役 長崎 秀人